

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 29日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県知多郡東浦町大字藤江字亥子新田1-11

氏 名 株式会社LIXIL

常滑東工場 工場長 佐藤 彰洋

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0562-84-1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社LIXIL 常滑東工場 東浦製造
事業場の所在地	愛知県知多郡東浦町大字藤江字亥子新田1番地の11
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21. 窯業土石製品製造業
②事業の規模	2022年度 製造品出荷額 811 (百万円)
③従業員数	66 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙1のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2のとおり		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

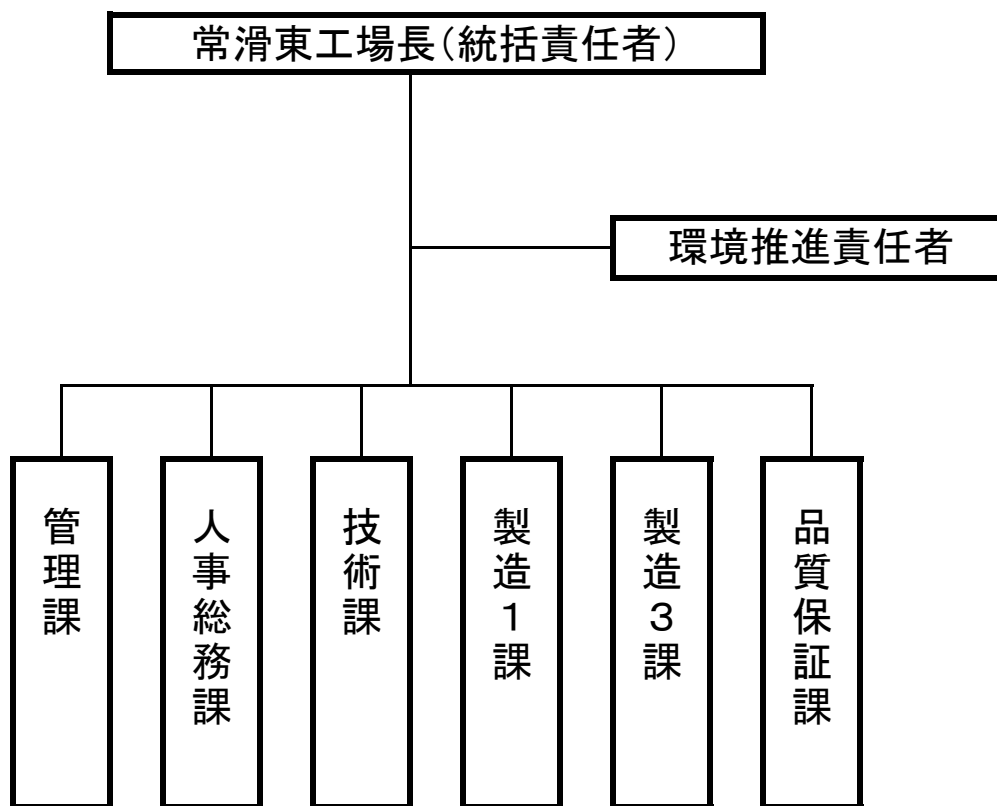
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】—		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】—		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



※産廃削減対策主幹部署

(別紙2-1 産業廃棄物処理計画書)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(2022 年度)実績】												
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	
排出量	1,320t	144t	371t	24t	272t	222t	814t	5t	4t	59t	82t	
①現状	(これまでに実施した取組)											
	<ul style="list-style-type: none"> ・品番替え時のロス削減 ・分別の徹底 											
【目標】												
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	
排出量	1,307t	143t	367t	24t	269t	220t	806t	5t	4t	59t	81t	
②計画	(今後実施する予定の取組)											
	<p>製造業であるため、排出量は生産量に大きく影響される。来年度目標は今年度と同等の生産量を確保できると仮定し、算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不良率改善(製造条件の見直し)に取り組み、陶磁器くず(焼成ペケ)、汚泥(未焼成ペケ)の削減を目標とする。 ・作り過ぎロス低減に取り組み、汚泥(廃水処理、未焼成ペケ)の削減を目標とする。 											

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・現状では、廃プラスチックが分別可能な混合廃棄物となっており、分別を行なっている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	・廃プラスチックの分別を徹底し、再資源化及び産業廃棄物の削減に取り組む。

(別紙2-2 産業廃棄物処理計画書)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(2022 年度)実績】												
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	
①現状	自ら再生利用を行 った産業廃棄物の量	1,320t	-	-	-	-	814t	-	-	-	-	
(これまでに実施した取組) ・自社利用の原料としての再利用をすすめる。												
【目標】												
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	
②計画	自ら再生利用を行 う産業廃棄物の量	1,307t	-	-	-	-	806t	-	-	-	-	
(今後実施する予定の取組) ・社外で処理委託する陶磁器くず, 汚泥をできる限り社内で再利用する施策をすすめる。												

(別紙2-3 産業廃棄物処理計画書)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(2022 年度)実績】												
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	
①現状	自ら熱回収を行なった産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-	-	218t	-	-	-	-	-	-	
(これまでに実施した取組) ・汚泥(廃水処理汚泥)は、自社内の脱水施設により減量化を行なっている。												
【目標】												
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品	
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-	-	269t	-	-	-	-	-	-	
(今後実施する予定の取組) ・引き続き汚泥(廃水処理汚泥)を、自社内の脱水施設により減量化していく。												

(別紙2-4 産業廃棄物処理計画書)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(2022 年度)実績】													
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品		
①現状	全処理委託量	-	144t	371t	24t	54t	222t	-	5t	4t	59t	82t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	-	-	-	24t	-	-	-	5t	-	59t	-	
	再生利用業者への 処理委託量	-	144t	371t	-	54t	222t	-	5t	4t	59t	82t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	-	-	-	-	-	-	5t	-	-	-	-	
(これまでに実施した取組)													
・陶磁器くず(陶磁器)、汚泥(未焼成ペケ)は、自社内での再利用をすすめるとともに、発生量抑制をすすめる。													
【目標】													
産業廃棄物の種類	陶磁器くず (社内リサイクル)	陶磁器くず (社外リサイクル)	陶磁器くず (県外リサイクル)	陶磁器くず (埋立)	汚泥(排水 処理汚泥リ サイクル)	汚泥(社外 リサイクル)	汚泥(社内 リサイクル)	廃プラス チック(焼 却廃プラ)	廃プラス チック(固 形燃料)	木くず	複合品		
②計画	全処理委託量	-	143t	367t	24t	53t	220t	-	5t	4t	59t	81t	
	優良認定処理業者 へ処理委託量	-	-	-	24t	-	-	-	5t	-	59t	-	
	再生利用業者への 処理委託量	-	143t	367t	-	53t	220t	-	5t	4t	59t	81t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	-	-	-	-	-	-	5t	-	-	-	-	
(今後実施する予定の取組)													
・木くずの分別を行い、状態の良いものについては産業廃棄物処理業者に委託し、チップ化などでの処理を促進することで再資源化する													
・可能な限り、廃棄物を再生利用業者へ委託し、再利用する。													

項目		産業廃棄物の種類												合計
		陶磁器くず	陶磁器くず	陶磁器くず	陶磁器くず	汚泥	汚泥	汚泥	廃プラスチック	廃プラスチック	木くず	複合品		
		(社内リサイクル)	(社外リサイクル)	(県外リサイクル)	(埋立)	処理汚泥リサイ	社外リサイクル	(社内リサイクル)	(焼却廃プラ)	(固形燃料)	(木くず)	(複合廃棄物)		
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	排出量	①現状(前年度)	1,320	144	371	24	272	222	814	5	4	59	82	3,317
		②計画(目標)	1,307	143	367	24	269	220	806	5	4	59	81	3,285
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	1,320	0	0	0	0	0	824	0	0	0	0	2,144
		②計画(目標)	1,307	0	0	0	0	0	806	0	0	0	0	2,113
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	①現状(前年度)	0	0	0	0	218	0	0	0	0	0	0	218
		②計画(目標)	0	0	0	0	216	0	0	0	0	0	0	216
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋処分に関する事項	処分量	①現状	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量	①現状(前年度)	0	144	371	24	54	222	0	5	4	59	82	965
		②計画(目標)	0	143	367	24	53	220	0	5	4	59	81	956
	優良認定業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	24	0	0	0	5	0	59	0	88
		②計画(目標)	0	0	0	24	0	0	0	5	0	59	0	88
	再生利用業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	144	371	0	54	222	0	0	4	59	82	936
		②計画(目標)	0	143	367	0	53	220	0	0	4	59	81	927
	認定熱回収業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定以外の熱回収を行う業者への処理委託量	①現状(前年度)	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
		②計画(目標)	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5

※現状(前年度):2022年度実績です。 前年対比 1%の削減を目標とします。